



中2

2025 シラバス





目次

ページ

3 英語（英会話を含む）

4 国 語

5 社会（地理・歴史）

6 数学

7 理科(化学&物理)

8 理科（生物）

9 理科(地学)

10 音 楽

11 美術

12 保健体育

13 技術・家庭（家庭分野）

14 技術・家庭（技術分野）

15 宗 教

履修学年	教 科	授業形態	週時間数
中学2年	英語(英会話を含む)	一斉・分割	6時間

教科書 NEW CROWN 2 (三省堂)	副読本 Keyワーク2年(教育開発出版) 語順ドリル②(正進社) Hyper Listening Introductory(桐原書店) キクジユク(アルク)
目標・わらい 1 英語の学習を通じて、様々な問題について興味・関心を深め、自らの考え、意見を持つ。 2 自己表現のためのツール(文法、語彙、論理展開)を身に付ける。 3 自己表現の経験を積むことによって、自己表現力を身に付ける。	
注意事項(学習方法・長期休業の課題など)	
1 学習方法 (1) 予習 ア 新出単語の品詞、意味を調べ、例文を書く。→本文学習後に単語テストを実施 (2) 授業 ア 帯活動(Small Talk、リスニング等) イ 新出語句の発音と意味確認 ウ オーラルイントロダクションやリスニングによる本文の概要把握 エ 本文の内容理解と音読 オ 新出文法のルールを理解と活用練習 カ レッソンのトピック、新出文法を使った自己表現と発表 キ ミニ確認テスト、まとめテスト、パフォーマンステスト等 (3) 復習 ア 音読(abceedの活用) イ 授業で使ったBookletを読み返す ウ Keyワーク、語順ドリル エ ミニ確認テストや単語テスト等に向けての準備	
2 長期休業の課題 (1) 与えられたトピックについて、まとめた英文を書く。 (2) 夏期・冬期・春期テキスト(文法練習問題・長文読解問題) (3) イディオムの例文暗記 → 休み明けに確認テストを実施	

評価について

観点	割合	授業時における項目
知識・技能	40	単語テスト・文法テスト・まとめテスト・ Final Task(インタビュー・リーディングなど)
思考・判断・表現	40	英会話・パフォーマンステスト・まとめテスト・ Final Task(プレゼンテーション・スピーチなど)
主体的に学習に取り組む態度	20	活動への意欲・提出物・振り返りシートなど

年間授業計画表

	単元	目標
前期	Lesson 1 Meet New Friends (1)助動詞willの肯定文・疑問文 (2)be going to ...の肯定文 Goal Activity 1年生のときに経験したことを教えて！ Lesson 2 Fun with Books (1)接続詞when / if (2)接続詞that (3)be sure that Goal Activity おすすめの日本語を教えて！	Lesson 1 (1)助動詞willを理解し、使うことができる。 (2)be going to ...を理解し、使うことができる。 (3)学校生活や行事について、詳しい説明や感想をつけ加えて、まとまりのある内容を話すことができる。 Lesson 2 (1)接続詞when / if / thatを理解し、使うことができる。 (2)ne sure that...を理解し使うことができる。 (3)登場人物などについて、すすめる理由をつけ加えて、まとまりのある文章を書くことができる。
	【Unit1 My Dream】 Lesson3 My Dream (1)To不定詞(名詞用法) (2)To不定詞(副詞・形容詞用法) (3)must... / must not... Small Talk “What do you want to do in the future” Goal Activity 「捨てないパン屋」ができるまで 【Unit2 Safe Clean Water】 Lesson4 Safe Clean Water (1)There is [are]構文(肯定文・否定文・疑問文) (2)動名詞 (3)have to... don't have to... Small Talk “What do you do to save the earth?” Goal Activity 身の回りにはどんな環境問題がある？ GTEC・学習テスト	Lesson3 My Dream (1)to不定詞を理解し、使うことができる。 (2)must... / must not...を理解し、使うことができる。 (3)トークテーマについて即興で伝え合ったり、質問に回答したりすることができる。 (4)『捨てないパン屋』の田村陽至さんについて書かれた記事を読んで、概要を捉えることができる。 Lesson 4 (1)There is [are]～ 構文を理解し、使うことができる。 (2)動名詞を理解し、使うことができる。 (3)[don't] have to...を理解し、使うことができる。 (4)身の回りの環境問題について、問題点と解決策を整理して、まとまりのある文章を書くことができる。
後期	Lesson5 Visiting Australia (1)動詞(showなど)+A+B (SVOO) (2)動詞(call, makeなど)+A+B (SVOC) Goal Activity 町や地域の魅力を教えて！	Lesson5 (1)SVOOの文型を理解し、使うことができる。 (2)SVOCの文型を理解し、使うことができる。 (3)おすすめの場所やイベントについて、複数の詳しい情報を つけ加えて、まとまりのある内容を話すことができる。
	【Unit3 Welcome to Japan】 Lesson6 Friends from Singapore (1)原級・比較級・最上級 (2)同等比較(as～as...) Goal Activity モナの日本の思い出 Lesson7 Gifts from China (1)現在完了形(肯定文・疑問文・否定文) (2)tell+ A+ that... Goal Activity おすすめの日本のお土産を教えて！ 学習テスト	Lesson 6 (1)形容詞・副詞の比較級・最上級を理解し、使うことができる。 (2)図や表などを使いながら、情報や思いを効果的に伝えることについて考える。 (3)海外から来た生徒が日本で学んだことについて書かれたメールを読んで、要点を捉えることができる。 Lesson 7 (1)現在完了形を理解し、使うことができる。 (2)tell+A+that...を理解し、使うことができる。 (3)特徴を整理した上で説明を加えて、まとまりのある文章を書くことができる。
	【Unit4 Rakugo Goes Overseas】 Lesson8 Tea from China (1)現在完了形(肯定文・疑問文・否定文) Goal Activity 英語落語家のインタビュー GTEC 学習テスト	Lesson 8 (1)現在完了形を理解し、使うことができる。 (2)落語についてのインタビュー記事を読み、要点をとらえることができる。

履修学年	教 科	授業形態	週時間数
中学2年	国 語	一斉	4時間

教科書 中学国語2年（教育出版） 中学書写2（教育出版）	副読本 よくわかる中学国文法（吉野教育図書） 書いて覚える！ 例文漢字（浜島書店） 論理エンジンOS2（水王舎）
目標・ねらい ・言語を、「考える」「創造する」「振り返る」「学習する」「自己表現する」「分析する」「社会とやりとりする」ための手段として利用できるようにする。 ・さまざまな場面で、「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」「見ること」「発表すること」に関わるスキルを身につける。 ・文学および文学以外のテキストを、批判的、かつ創造的、かつ独創的に学習し分析することを探究する。 ・いろいろな時代とさまざまな文化のテキストに取り組む。 ・文学および文学以外のテキストを通して、自分の国や学校所在地の文化、その他の文化を探究し、分析する。 ・多様なメディアや伝達手段を通して言語を探究する。 ・生涯にわたる読書への関心を育む。 ・さまざまな場面において、言語的で文学的な概念とスキルを応用できるようにする。	
注意事項(学習方法・長期休業の課題など) ○学習方法 ・予習 事前に教科書などのテキストを提示された場合は、それを読み、分からない語句などは意味を辞書で調べておく。事前にその他の課題を出された場合も、確実にその課題をこなしておく。 ・授業 個人作業→協働作業→個人作業の繰り返しの中で、仲間と一緒に考えながら自己の考えを深め、一つの事柄を探究していくことの楽しさ・喜びを実感できるようにする。各Unitにおける提出物(特に総括的評価課題)は必ず提出する。 ・復習 自分の提出・提示した課題と評価規準を見比べ、課題への取り組み方として足りなかった部分、今後必要になってくるであろう部分を認識する。評価に納得のいかない部分があった場合は、必要に応じて教員と面談等を行い、納得した上で次の課題に取り組む。 ○学習テスト 計画的に学習計画を立てる習慣づけのため、およびそれまでのUnit等において得た知識がしっかりと定着しているかを測るために、定期的に「学習テスト」を実施する予定。 ○長期休業の課題 長期休暇には、作文や読書感想文などの文章を書く課題を課す。 俳句や短歌作り、その他創作、課題作文等、外部コンクールにも応募する。 ○小テスト 漢字テスト・語彙テストなどを定期的の実施する。 ○書写 毛筆・硬筆併せて、年間10時間程度行う。 ※学年の状況に応じてUnitが前後することがある。	

観点	割合	授業時における項目
知識・技能	20	各課題における言語使用、国文法、漢字テスト、書写など
思考・判断・表現	60	テキストの分析・文章読解／口頭での発表・他者の発表の聞き方／長期休暇中の課題作文・論文や作文など文書による課題など
主体的に学習に取り組む態度	20	課題の提出状況・課題への取り組み態度など

年間授業計画表

	単元	目標
前期	1 オリエンテーション 2 「語り」継がれてきた『平家物語』を語り継ぐ (Unit1) 3 使われる地域や時代によって異なる「体言」「用言」の探究 (Unit2) 4 漢字の学習 5 論理エンジン 6 言語技術 7 書写 8 学習テスト	1 年間を通じての授業の方針と、ねらい・目標を理解する 2 語り物として語り継がれた古典作品及び伝達方法について考察する 3 日本語口語文法における「体言」「用言」と他言語、文語文法との比較をとおして、「体言」「用言」の変化について探究する 4 漢字の読み・書きを、週1回の漢字テストを通して学び、身につける。 5. 6 日本語を論理的に読み、書くための基本的な知識・技術を身につける 7 毛筆と硬筆を用いて、美しい文字を書く 8 計画的に学習計画を立てる習慣をつける。また各Unit等において得た知識がしっかりと定着しているかを測る
後期	1 使われる地域や時代によって異なる「体言」「用言」の探究 (Unit2) (前期の続き) 2 『走れメロス』を読み解き・分析し、新たに蘇らせる試み (Unit3) 3 論理的な読み書きの探究Ⅱ (Unit4) 4 漢字の学習 5 論理エンジン 6 言語技術 7 書写 8 学習テスト	1 日本語口語文法における「体言」「用言」と他言語、文語文法との比較をとおして、「体言」「用言」の変化について探究する 2 物語作品を批判的に分析した上で創作することで、批評と創作の関係性について探究を行う 3 中学1年次の学びを土台とし、客観と主観が、論理とどのようにかかわるかについて考える 4 漢字の読み・書きを、週1回の漢字テストを通して学び、身につける。 5. 6 日本語を論理的に読み、書くための基本的な知識・技術を身につける 7 毛筆と硬筆を用いて、美しい文字を書く 8 計画的に学習計画を立てる習慣をつける。また各Unit等において得た知識がしっかりと定着しているかを測る

履修学年	教 科	授業形態	週時間数
中学2年	社会(地理・歴史)	一斉	3時間

教科書 社会科 中学生の地理(帝国書院) 中学校社会科地図(帝国書院) 中学歴史 日本と世界(山川出版)		副読本 最新地理資料集総合(明治図書) 学び考える歴史(浜島書店) ビジュアル公民(とうほう)
目標・ねらい ・人間と環境に見られる共通点や多様性を認識すること ・個人、社会、環境の相互作用や相互依存性を理解すること ・環境の体系と人間の体系がどのように作用し進化していくかを理解すること ・人間のコミュニティーと自然環境の健やかさについて、問題点を特定し啓発すること ・地域およびグローバルなコミュニティーの責任ある市民として行動すること ・探究のスキルを養い、個人と社会とそれらが生きる環境との間の関係性を概念的に理解すること		
注意事項(学習方法・長期休業の課題など) 1 日常の学習 (1)ユニットごとに地理的分野と歴史的分野の学びをおこなう。 (2)A4サイズのファイルを準備し、配布されたプリント類をポートフォリオとしてまとめる。 (3)ユニットによって座学やグループワーク、個人ワークなどを組み合わせて行う。 (4)ユニット内容に合わせて家庭学習を進め、知識定着をはかること。 (5)学習習慣定着のため、課題提出は必ず行うこと。 (6)学習テスト(年3回)に際しては、先の見通しを立てて計画的に準備すること。 2 長期休業の学習 (1)まとまった時間を使って探究課題に取り組む。 (2)上記内容を学園祭にて展示する。		

観点	割合	授業時における項目
知識・技能	40	小テスト・単元テスト(学習テストを含む)・探究課題
思考・判断・表現	40	小テスト・単元テスト(学習テストを含む)・探究課題
主体的に学習に取り組む態度	20	小テスト・単元テスト(学習テストを含む)・探究課題

年間授業計画表

	単元	目標
前期	ユニット1 【歴史分野】 中世の日本 (武士の誕生と成長) ★単元テスト(5月)	武士の台頭と武家政権の成立・展開の過程を理解し、武士と土地の関係について考察する。 【A】
	ユニット2 【地理分野】 日本の地域的特色 日本・世界の諸課題 ★探究課題・単元テスト(7月)	日本の地理的特徴を、地形や気候、人口や産業などの多様な視点から表現するとともに、日本の抱える諸課題を世界の諸課題と比較しながらその背景や影響について考察する。 【A】【B】【C】
	ユニット3 【歴史分野】 中世の日本 (封建制度と惣村の自治) ★単元テスト(9月)	古代と中世の庶民の生活(民衆史)を理解し、比較検討することで、共同体の進化と規模の拡大がどのような結果をもたらしているのか考察する。 【A】【D】
後期	ユニット4 【歴史的分野】 近世初頭のグローバル化 幕藩体制 ★単元テスト(10月)	近世初頭のグローバル化(大航海時代・南蛮貿易・鎖国体制)を理解し、グローバル化と地域社会の文化や価値観との関係について考察する。 【A】【C】
	ユニット5 【歴史的分野】 産業革命 【地理的分野】 世界の諸地域と経済格差 ★探究課題・単元テスト(12月)	産業革命によってもたらされた技術の進歩や社会の変容が、グローバル化にどのような影響をもたらしたのか考察するとともに、グローバル化のもたらす利害を地理的な視点から考察する 【A】【B】【D】
	ユニット6 【歴史的分野】 市民革命 ★単元テスト(2月)	市民革命によって新しい社会が生まれたことを理解するとともに、現代につながる意味を考察する。 【A】

履修学年	教科	授業形態	週時間数
中学２年	数学	分割	４時間

教科書 未来へひろがる数学 ２ （啓林館） 未来へひろがる数学 ３ （啓林館）	副読本 数学の学習ノート ２年（正進社） 数学の学習ノート ３年（正進社）
---	---

目標・ねらい ・文字式を目的に応じて計算したり、変形したりする能力を伸ばす。 ・連立方程式や、関数の基本について理解する。 ・平面上の図形の合同や、その証明について学ぶ。
--

注意事項(学習方法・長期休業の課題など) ○ユニットテストについて (1)授業内容を中心に出题する。 (2)ユニットテスト当日に、問題集を提出すること。 ○その他のテストについて (1)再テスト：ユニットテストの再テスト及び補習 (2)MN テスト：日々の授業内容を確認する小テスト (3)DN テスト：学習済みの内容を自宅で振り返る宿題 (4)学習テスト：ユニットテスト・MNテスト・DNテストの類題を出題するまとめテスト ○日々の学習について (1)予習として、教科書の例題を読むと良い。ファイルを用いてプリント類を整理する。 (2)復習として、問題集を解いて答え合わせと間違い直しをする。 (3)入学前と長期休暇の宿題はワークやプリントが配布される。 (4)各教室に置いてある数学検定の問題集を自由に活用する。 (5)希望者に問題集「STEP演習(数研出版)」を販売する。各自のペースで取り組むこと。 (6)各自で「振り返りノート」を準備し、学力テスト後に提出する。
--

評価について

観点	割合	授業時における項目
知識・技能	20	MNテスト・学習テスト・学力テスト
思考・判断・表現	60	ユニットテスト・探究課題（レポート）
主体的に学習に取り組む態度	20	提出物・DNテスト

年間授業計画表

	単元	目標 【MYP評価規準】
前期	ユニット１ 1章 式の計算 式の計算 文字式の利用 ユニットテスト	・同類項について学ぶ。 ・文字を使った数を理解する。 ・目的に応じた等式の変形をする。 ・加減法を活用できる。 【A】
	ユニット２ 2章 連立方程式 連立方程式とその解 連立方程式の利用 ユニットテスト レポート 学習テスト	・複雑な連立方程式を解く。 ・自ら立式して２数を求める。 【B・C】
後期	ユニット３ 3章 １次関数 １次関数とグラフ １次関数と方程式 １次関数の利用 ユニットテスト レポート	・時間にもなって増加・減少する数量の関係を、実験を通して推測する。 ・ともなって変化する数量の関係を、式や表またはグラフに表す。 ・具体的な問題を、１次関数を用いて解決する。 【A・D】
	ユニット４ 4章 図形の調べ方 平行線と合同	・いろいろな角を求める。
	三角形の合同 5章 図形の性質の証明 三角形 直角三角形の合同 平行四辺形の性質 ユニットテスト レポート	・三角形の合同を使った証明ができる。 ・三角形や四角形の性質を知る。 【A・B】
	ユニット５ 6章 場合の数と確率 確率の求め方 確率の利用 7章 箱ひげ図とデータの活用 箱ひげ図	・サイコロやコインを投げて、起こりうる場合の数を、実験を通して推測する。 ・起こりうる場合の数を数え、確率を求める。 ・範囲・四分位数を理解し、箱ひげ図をかくことができる。
	(中学３年) 8章 標本調査とデータの活用 標本調査 ユニットテスト レポート 学習テスト	・身のまわりの問題について、資料を整理しその特徴について思考・表現する。 ・一部から全体の傾向を推測する調査の方法を学習する。 【C・D】

履修学年	教 科	授業形態	週時間数
中学2年	理科(生物)	一斉	1時間

教科書 未来へひろがるサイエンス 2 (啓林館)	副読本 理科の自主学習2年 (新学社)
-----------------------------	---------------------------

ねらい

- ・科学とその意味するものを理解し正しく認識すること
- ・科学を利益と限界を伴った人間の試みとみなすこと
- ・疑問を抱き、問題を解決し、説明を構築し、議論を判断する、分析的で探究的かつ柔軟な思考を養うこと
- ・調査を計画・実施し、証拠を評価し、結論に達するスキルを養うこと
- ・効果的に協働しコミュニケーションをとる必要性を意識すること
- ・実世界における多様な文脈で言語スキルと知識を活用すること
- ・生物環境と非生物環境に対して敏感になること
- ・学習経験を振り返り、確かな情報に基づく選択をすること

注意事項（学習方法・長期休業の課題など）

1 学習方法

(1)授業での学習と実験観察に意欲的に取り組む。

(2)復習を重視し、小單元ごとに問題演習を行う。

(3)実験の授業では、安全面を重視し、基本的な操作方法を身につける。

2 家庭学習

(1)学校からの課題を行う。

(2)テストに向けた学習計画を立て実行する。

(3)夏休みには、課題等を行う。

3 授業

実験室の状況で、単元の順番を変更することがある。

状況に応じて、シラバスの内容を変更して授業を実施することがある。

評価について

観点	割合	授業時における項目
知識・技能	40	テストや課題、実験の技能
思考・判断・表現	30	テスト、授業プリントやレポートなどの提出物
主体的に学習に取り組む態度	30	授業態度、提出物

年間授業計画表

	単元	目標
前期	ユニット3 [生命]生物の体のつくりとはたらき 1章 生物の体をつくるもの 2章 植物の体のつくりとはたらき	1章 生物の体をつくる細胞もの 生物の組織などの観察を行い、生物の体が細胞からできている こと、および植物と動物の細胞のつくりの特徴を見いだす理解する。 2章 植物の体のつくりとはたらき 植物の葉や茎、根のつくりについての観察を行い、それらのつくりと、光合成、呼吸、蒸散のはたらきに関する実験の結果とを関連づけて理解する。
	3章 動物の体のつくりとはたらき 4章 動物の行動のしくみ	3章 動物の体のつくりとはたらき 消化や呼吸、血液の循環についての観察・実験を行い、動物の体が必要な物質を取り入れ運搬しているしくみを観察・実験の結果と関連づけて理解する。また、不要となった物質を排出するしくみがあることを理解する。 4章 動物の行動のしくみ 動物が外界の刺激に適切に反応している様子の観察を行い、そのしくみを感覚器官、神経および運動器官のつくりと関連づけて理解する。 MYP:生涯健康であるためには？
後期	ユニット5 エネルギー資源とその利用	放射線の性質について学び、原子力発電所の必要性について考える。 MYP:横浜火力発電所を原子力発電所に建て替え計画についてのレポート

履修学年	教 科	授業形態	週時間数
中学2年	理科(地学)	一斉	1時間

未来へひろがるサイエンス 2 (啓林館)	副読本 理科の自主学習2年 (新学社)
ねらい ・科学とその意味するものを理解し正しく認識すること ・科学を利益と限界を伴った人間の試みとみなすこと ・疑問を抱き、問題を解決し、説明を構築し、議論を判断する、分析的で探究的かつ柔軟な思考を養うこと ・調査を計画・実施し、証拠を評価し、結論に達するスキルを養うこと ・効果的に協働しコミュニケーションをとる必要性を意識すること ・実世界における多様な文脈で言語スキルと知識を活用すること ・生物環境と非生物環境に対して敏感になること ・学習経験を振り返り、確かな情報に基づく選択をすること	
注意事項（学習方法・長期休業の課題など） 1 学習方法 (1)授業での学習と実験観察に意欲的に取り組む。 (2)復習を重視し、小単位ごとに問題演習を行う。 (3)実験の授業では、安全面を重視し、基本的な操作方法を身につける。 2 家庭学習 (1)学校からの課題を行う。 (2)テストに向けた学習計画を立て実行する。 (3)夏休みには、課題等を行う。 3 授業 実験室の状況で、単元の順番を変更することがある。 状況に応じて、シラバスの内容を変更して授業を実施することがある。	

評価について

観点	割合	授業時における項目
知識・技能	40	テストや課題、実験の技能
思考・判断・表現	30	テスト、授業プリントやレポートなどの提出物
主体的に学習に取り組む態度	30	授業態度、提出物

年間授業計画表

	単元	目標
前期	ユニット2 [地球編]地球の大気と天気の変化 1章 地球をとり巻く大気のように	1章 地球をとり巻く大気のように 地表にあるものすべてに大気圧がはたらいていることを理解し、身のまわりの大気の状態を認識する。また、身のまわりの大気の状態を継続的に観測し、気象要素の変化と天気の変化の関係をみいだす。
	2章 空気中の水の変化	2章 空気中の水の変化 霧や雲のでき方を空気中の水の変化と関連づけて理解する。また、地球上の水がさまざまな状態で存在し、霧、雲、雨や雪はその循環の一部であることを認識する。
後期	3章 天気の変化と大気の動き	3章 天気の変化と大気の動き 気圧配置によって、大気の動きが生じることを理解する。また、日本付近の高気圧や低気圧の移動と、それに伴う天気の変化を、地球規模の大気の動きの一部として捉える。
	4章 大気の動きと日本の四季	4章 大気の動きと日本の四季 大陸と海洋の温度差によって生じる大気の動きが、日本の気象に影響を与えることを理解する。さらに、日本付近で盛衰する3つの気団と関連づけながら、日本の四季の天気の特徴とそれが生じるしるしを理解する。 MYP: 天気の長期予報が人間生活や社会に与える影響について

年間授業計画表

	単元	目標
前期	ユニット1【Sing!Sing!Sing!】 歌唱:曲想の変化の理解と表現の工夫 楽典:音楽記号 パフォーマンス 発表	・曲の構成や曲想の変化を感じ取って歌う。 ・言葉と旋律の関係を理解して表現を工夫する。 ・音高に合わせた演奏技術を身に付ける。 ・曲想に相應しい音色を探究する ・音楽記号を理解し、楽譜を読み取る力をつける。 ・互いに協力し合い、音楽を通してコミュニケーションを深める。
	ユニット2【作曲家のすすめ】 音の表現を学ぶ 拍子、リズムの学習 創作	・音楽と社会の関わりについて探求する。 ・拍子やリズムを正しく理解、使用できるようにする。 ・創作活動を通して、音楽表現の楽しさを味わう。
	ユニット3【広がる音楽・広がる世界】 鑑賞:オーケストラ 学習テスト	・オーケストラ楽器についての知識を得る。 ・楽器ごとの歴史や特色を知り、オーケストラの魅力を探究する。 ・交響曲・ソナタ形式を学び、形式の上に成り立つ音楽の楽しみ方を探究する。 ・曲のしぐみに注目して名曲を楽しむ。 ・作曲家の人生について知識を深め、楽曲への想いを感じ取る。
	ユニット4 【Play!Play!Play!】 演奏:曲想の変化の理解と表現の工夫 楽典:音楽記号 パフォーマンス発表 ○鑑賞:オペラ	・曲の持つ情緒を味わいながら演奏する。 ・曲の構成と音の重なり方を理解して表現を工夫する。 ・演奏に必要な技術を身に付け、自身の表現を深める。 ・他と協力し、よく聴き合いながら演奏する。 ・総合芸術であるオペラの要素を学ぶ ・オペラを鑑賞し曲想と音楽構造の関わりを理解する ・オペラの良さを味わって聴く

履修学年	教科	授業形態	週時間数
中学2年	音楽	一斉	1.3時間

教科書 中学生の音楽 2・3年 上 (教育芸術社) 中学生の器楽 (教育芸術社)	副教材 アルトリコーダー タブレット 音楽創作ソフト
目標・ねらい ・音を使って、自分を表現する喜びを味わい、豊かな人間性を養う。 ・演奏や鑑賞を通して、他と協力して一つのものを作り上げる喜びを体験する。 ・演奏を聴きあい、互いの理解を深める。	
注意事項(学習方法・長期休業の課題など) ・授業の進度により課題の出る場合がある。 ・各種コンクール等への自主参加は自由。 ・ユニットに関わらず、演奏活動は随時行う。	

評価について

観点	割合	授業時における項目
知識・技能	40	パフォーマンス・小テスト・学習テスト
思考・判断・表現	40	パフォーマンス・平常点・鑑賞・学習テスト・作品
主体的に学習に取り組む態度	20	課題への取り組み・小テスト・平常点

履修学年	教 科	授業形態	週時間数
中学2年	美術	一斉	1.3時間

教科書 美術2・3(光村図書)	副読本 なし
目標・ねらい ・主体的に美術の活動に取り組むなかで、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と能力を高める。 ・対象を見つめ感じ取る力や想像力を高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する力や、自分の表現を創意工夫し、創造的に表現する力を伸ばす。 ・自然の造形や芸術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、芸術文化に対する関心を高め、良さや美しさを味わう鑑賞の能力を育てる。 ・創造的な思考力を高め、多様性を受け入れるとともに、自己及び他者理解を深める。	
注意事項(学習方法・長期休業の課題など) ・作業時には、制服が汚れないよう十分注意し、タブリエや、エプロン、スモックなどを着用する。 ・課題によっては、怪我につながる危険性を伴う為、十分に注意して行う。 ・筆記用具、教科書、絵の具バック、タブレットを毎時持参する。 ・各種コンクールへの参加は自由。 ・授業進度によって、課題の変更がある。 長期休業課題 調査レポート、鑑賞シート、自作の振り返り、作品制作、資料・材料集めなどのなかから、学習内容に合わせて休み前の授業内にて指示。	

評価について

観点	割合	授業時における項目
知識・技能	40	提出物(記述・作品)
思考・判断・表現	40	提出物(記述・作品)・鑑賞文
主体的に学習に取り組む態度	20	提出物(記述・作品)・活動への取り組み

年間授業計画表

	単元	目 標
前期	絵画・水彩 ユニット1「記憶の展覧会」 ・風景画 ・遠近法	〈変化〉A i i i C i D i i i ・絵画表現に見られる様々な遠近表現を学び、その仕組みについて理解する。 ・作者の心情や意図、創造的な表現の工夫を感じ取り、自分の見方や考え方を深める。 ・形や色彩、構図や描き方に着目し、絵画鑑賞の力を養う ・主題を伝えるための、ふさわしい色・形・構図を模索し、構想する力、描写力を高める。
	デザイン・映像 ユニット2「ドリンク開発」 ・ユニバーサルデザインについての学習 ・製品デザイン ・商品CM作成(PR動画)	〈コミュニケーション〉B i i i C i D i D i i ・人々の暮らしに寄り添う、機能性と美しさを兼ね備えたデザインの構想を練る。 ・商品と人、社会との関係性について理解し、社会や他者とのニーズに対応できるデザインや機能を考える。 ・ユニバーサルデザインへの理解を深め、社会のなかの美術の可能性や、その働きについて議論し、創造活動の意義を理解する。 ・作成したものを、より魅力的に他者へアピールする力を身につける。 ・限られた時間のなかで、伝えたい情報を明確にし、他者に効果的に伝達する。 □
後期	塑造・デザイン ユニット3「和のおもてなし」 ・日本美術作品鑑賞 ・和菓子のデザイン ・創作和菓子の塑造	〈美的感性〉A i i i C i B i i i ・日本美術作品を分析し、日本特有の表現の豊かさや余白の美を活かした表現を学ぶ。 ・和菓子作品の創造的工夫や効果を感じ取り、自作に活かす。 ・作品のよさや美しさについて自分の考えを持ち、それらを他者と共有する。 ・時代を超えた表現の共通点に意識を向け、芸術文化への理解を深める。 ・四季折々の美しさから発想を広げ、かたちや色を工夫してデザインする ・用具の特性を生かし、自身のアイデアを立体表現をする。
	映像 コマ撮りアニメーション	・アニメーションの特性を活かした、表現の工夫を楽しむ。 ・主題に対し、ふさわしい構図や動き、場面の変化など効果を考え、構想を練る。

履修学年	教 科	授業形態	週時間数
中学2年	保健体育	一斉	3時間

教科書 中学保健体育（学研）	副読本 なし
目標・ねらい（IBの目標） ・保健体育の概念を探るために探求心を駆使する ・多様な状況に効果的に関わる →場面や状況の変化にどう対応するべきか？ ・運動の価値を理解する →何のために運動するのか？ ・健康的なライフスタイルを達成し、維持する →健康的なライフスタイルとはどのようなものか？ ・効果的に連携し、コミュニケーションを図る →どのようなコミュニケーションをとるか？ ・肯定的な人間関係を築き、社会的な責任感を実際に示す →前向きに仲間と関わるために自分の果たす役割は何か？ ・自身の学習経験を振り返る →自分のできること、苦手なことは何か？どうすればできるようになるか？	
注意事項(学習方法・長期休業の課題など) ○体操服をきちんと着用すること。 ○怪我の防止のため、準備運動を徹底すること。 ○ユニットごとにペーパーテストを行う ○ワークシートを期限に提出すること 見学の取り扱い ・自分の体調を考えながら可能な範囲で参加をし、できるだけ見学はしないこと。 ・見学届は事前に提出すること。	

評価について

観 点	割合	授業時における項目
知識・技能	50	ペーパーテスト・実技テスト
思考・判断・表現	25	授業内での取り組み、ワークシート
主体的に学習に取り組む態度	25	授業内での状況判断、ワークシート

年間授業計画表

	単元	目 標
前期	体育祭関係 ラジオ体操第2 行進 競技の説明・練習 【ユニット1】 ハンドボール	・集団の中での役割を自覚し、行動できるようになる。 ・空き(スペース・人)を作るための工夫や変化を探究する。 ・最適な選択をし、効果的な場面を創りだすために、以下の技術を習得する。 ・パス ・シュート ・フェイント
	【ユニット2】 走り高跳び	・より高いバーを越えるためにかかわりのある要素は何か探究する。
後期	【ユニット3】 ソフトボール	・基本技術を身に付ける。 ・トスバッティングからのゲームを行う。 ・チームが機能するためのポジション・打順を考える。
	【ユニット4】 跳び箱 【ユニット5】 空手 【ユニット6】 保健	・跳び箱に関しての自分の課題を見つけ、練習方法を探究する。 ・基本型Ⅱを習得する。 ・団体型の見せ方を探究する。 ・中学生の心の発達と健康を理解する。

履修学年	教 科	授業形態	週時間数
中学2年	技術・家庭(家庭分野)	一斉	1～2時間

教科書 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して(東京書籍)	副読本 なし
目標・ねらい 生活に必要な基礎的・基本的な知識と技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し、創造する能力と実践的な態度を身につける。	
注意事項(学習方法・長期休業の課題など) 1 プリント、課題などは必ず提出すること。 2 調理実習では、班で作業することも考え、なるべく欠席のないよう体調管理に注意すること。 3 長期休業中には、家庭での実践を含めたレポート等の課題がある。	

評価について

観点	割合	授業時における項目
知識・技能	40	学習テスト、実技テスト
思考・判断・表現	40	ワークシート、課題レポートの内容
主体的に学習に取り組む姿勢	20	授業、課題への取り組み状況

年間授業計画表

	単元	目標
前期	私たちの食生活(Unit1)	自分の食生活に関心を持ち、生活の中で食事が果たす役割を理解し、健康により良い食習慣について考える。
	食事の役割と中学生の栄養の特徴	栄養素の種類と働きを知り、中学生に必要な栄養の特徴について考える。
	中学生に必要な栄養を満たす食事	食品の栄養的特質や中学生に必要な食品の種類と概量について配慮しながら、中学生の一食分の献立を考えることができる。
	日常食の調理	食品や調理器具などを衛生と安全に配慮して取り扱うことができる。計画に沿って、適切に調理をすることができる。
後期	家族のための献立作成と調理	栄養や体調に配慮した家族のための献立を作成し、計画的に調理を行い提供する。
	学習テスト	
	持続可能な食生活を目指して	環境と日本の食糧事情について学び、自分の食生活を世界の視点から見直す。 資源や環境に配慮しながら、健康的でバランスのよい献立計画を立てる。調理にあたって、資源や環境に配慮した工夫ができる。
	生活を豊かにするために	安全に注意しながらミシンを正しく扱い、縫うことができる。ミシンを活用し、布の小物を製作する。
	住まいの役割と安全な住まい方	基本的な住まいの役割と、住空間の関りについて理解する。 日本の住まいの特徴や住まいと気候風土の関りについて理解する。
	学習テスト	健康で快適な室内環境について考え、整え方を工夫する。

年間授業計画表

	単元	目標
前期	エネルギー変換の技術の原理・法則と仕組み (電気・機械)	・身近なエネルギー変換の技術について考え、電気回路の原理・法則と、発電方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解し、技術に込められた問題解決の工夫について考えることができる。
後期	エネルギー変換の技術による問題解決(電気・機械) 「ちょっと便利な発明品」	・身近なエネルギー変換の技術について考え、電気回路の原理・法則と、発電方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解し、技術に込められた問題解決の工夫について考えることができる。

履修学年	科目	授業形態	単位数
中学2年	技術・家庭(技術分野)	一斉	1単位

教科書 新しい技術・家庭 技術分野(東京書籍)	副教材 Google Classroom
----------------------------	-------------------------

目標・ねらい
エネルギー変換の技術の学習を通して、電気回路や機械などの基礎的な知識・技能を習得するとともに、生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決する力、適切かつ誠実にエネルギー変換の技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

注意事項(学習方法・長期休業の課題など)

- ・課題は、授業時に終わらせることが前提であるが、終わらない場合は放課後補習という形態をとることがある。
- ・グループワークや実習を多く取り入れた授業形態となるため、積極的な活動が求められる。
- ・授業を欠席した場合は、登校日に授業内容の確認に来ること。
- ・提出物は期限厳守。未提出や提出遅れは平常点の大幅な減点対象となるため注意すること。

評価について

項目	割合(%)	項目内容
知識・技能	40	ワークシート、製作品
思考・判断・表現	40	ワークシート、課題レポートの内容
主体的に学習に取り組む姿勢	20	授業、課題への取り組み状況

履修学年	教 科	授業形態	週時間数
中学2年	宗 教	一斉	1時間

教科書 聖書 新共同訳続編つき （日本聖書協会）	副読本 なし
目標・ねらい ①学園の建学の精神に触れ、キリスト教の基礎的な知識を身に付ける。 ②キリスト教の歴史を理解する。 ③聖書に触れ、神のメッセージを学ぶ。 ④生徒一人ひとりが神に愛されていることを実感させる。	
注意事項(学習方法・長期休業の課題など) ・聖書のみことばと、現代社会の諸問題を関連付けながら、学ぶように導く。 ・修養会などの宗教行事に関しての事前の準備と、事後の振り返りを行う。 ・修養会ノートの提出や、課題に対するレポートを定期的に課す。 ・夏休みには読書感想を書く。(宗教書などの指定は適宜行う)	

評価について

観点	割合	授業時における項目
宗教への興味・関心	20	提出物・修養会ノート
キリスト教についての知識・理解	60	学習テスト
キリスト教的価値観を表現する力	20	課題・レポート(読書感想文など)

年間授業計画表

	単元	目標
前期	・イエス誕生前のイスラエル ・イエス・キリストの誕生 ・マリア、ヨゼフについて、ザカリアの物語	・イスラエルの社会的背景の中で、救い主誕生の意義を理解する。 ・「神の子」の誕生意義を考える。 ・聖母マリアと聖ヨゼフの生涯とアブラハムのお告げを理解する。 ・洗礼者ヨハネとの関わりを理解する。
	・イエスの生涯(神殿でのイエス(12歳)) ・12人の弟子	・生徒と同じ世代のイエスについて理解を深める。 ・弟子たちの存在。 ・12使徒のメンバーを知り、その生涯を理解する。
後期	・ドン・ボスコについて ・修養会について	・聖人の生き方を通してキリスト教について理解する。 指導司祭の紹介・テーマの確認・ミサや修養会の企画運営。
	・イエスの宣教 (1) イエスの奇跡 (2) たとえ話	・「父の愛」、「神の愛」を理解する。 ・聖書のたとえ話の意図を理解する。 ・「隣人」についての理解を深める。